2.1 カレンダーテンプレートのプリント方法

QSS-35型の手順に沿って説明しています。お使いの機種により画面など一部異なる箇所がありますが、プリント方法は同じです。

2.1.1 プリントチャンネルを選択する 1.「オーダー画面」で「一覧表示」ボタンをクリックします。 画面番号 [0100 - 00] ーダー画面 ネガをセットしてください 入力 エディット ブリントチャンネル 301:ポストカード 一覧表示 23 エディット S0100-00-UM00 「一覧表示」画面が表示されます。 2.「エディット」タブをクリックし、「エディット種別」が「ポストカード」のプリントチャン ネルをクリックします。 一覧表示 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 チャンネ * クリア (1)ット エディット 1 ケージ アルバム 列の設定 MA <u>ノ ー ル ー 市</u> ボストカー (2)-<u>/ 1 2 11程...</u> ポストカー| ーネガ 127(1)× 89.0 証明写具 証明写具 89(1)×89.0 89(1)×127.0 303 304 305 306 307 308 カラーネカ カラーネガ カラーネガ 分割 マルナ タイリング 203(1) 254.0 S0100-00-UM24 **3.**「YES: OK」ボタンをクリックします。 「オーダー画面」に戻ります。 (参考) ・「オーダー画面」に目的のプリントモードが表示されます。目的のプリントモードになっていない ときには、下記部分をクリックして目的のプリントモードに変更します。 オーダー画面 画面番号[0100-00] ***

ネカをセットしてください		a ?		
ブリントチャンネル	^	[<u>,</u> ,	エディット	
301:ポストカード			E HE	
23 エディット	V			
		カラーネガ	ポストカード	
	820			S0100-00-t

2.1.2 フィルムや記憶メディアをセットする

1.「オーダー画面」でスキャナー部にフィルムをセットする、または画像が保存されている記憶 メディアをドライブにセットして「スタート」ボタンをクリックします。

「画像選択」画面または、「顧客情報一覧」画面が表示されます。

2.1.3 編集で使用する画像を選択する

フィルムから画像を取り込んだときに必要な作業で、編集時どの画像を使用するかを選択します。 ここで、選択した画像は、後に表示される「エディット」画面で自由に画像データを入れ替えることができま す。

入力メディアの種類が記憶メディアの場合は、ここで説明している作業は必要ありません。 次の手順「2.1.4 顧客情報の選択をする」へ進んでください。

(例)「画像選択」画面



1. 編集に使用する画像をクリックします。

クリックした画像には赤い枠がつきます。

- - 以下のような場合、画像を読み込むのに数十分の時間がかかることがあります。
 - 多くの画像を選択した場合。
 - ・ プリントサイズを大きく設定している場合。

(参考)

- 「全選択」ボタンをクリックすると、表示されている画像がすべて選ばれます。
- ・「全解除」ボタンをクリックすると、画像の選択を解除します。
- ・「画像回転」ボタンをクリックすると、表示されている画像がすべて180度回転します。

2.「補正」画面を表示し、色、濃度補正、DSA補正、画像の位置調整をします。

(1) 画像をダブルクリックし、「補正」画面を表示します。



補正の種類	詳細内容
色、濃度補正	各補正値の欄を、クリックすると補正値が上がり、右クリックすると補正 値が下がります。
画像の位置調整	 ■ ボタンまたは ▶ ボタンをクリックし、画像の位置を調整します。 参考 ・ 135Hフィルム、120フィルム(6×4.5、6×6、6×6[v])の場合は、▲ ボタンまたは ▼ ボタンが表示されます。
DSA補正	「DSA」ボタンをクリックし、コントラスト、シャープネス、彩度などを 調整します。
パノラマシャッター ON/OFF切替 機能	選択している画像がパノラマかパノラマでないか確認します。 2A パノラマシャッター ON/OFFアイコン
	 アイコンの表示が適切でなければ、アイコンをクリックし、パノラマシャッターのON/OFFを切り替えます。 参考 ・「機能選択」画面で「オーバーネガ/アンダーポジの補正」の設定を、「高画質(全てのフィルム)」に設定していると、「パノラマシャッター ON/OFFアイコン」が表示されていることがあります。

(2) 以下の補正が必要な場合は、補正をします。

(3)「補正」画面以外の場所をクリックし、「補正」画面を終了します。

機能の種類 詳細内容 シーン別補正 画像を写した場面に合った補正をすることができます。 (参考) ・ フィルムの種類が黒白フィルム、セピアフィルムのときは選択できま せん。 1.補正する画像上で右クリックします。 2.「シーン別補正」をクリックします。 シーン別補正 1A SΔ 同じ露光条件でプリントする機能 | 同じ背景で複数コマ撮影したときなど、画像ごとの色の違いを無くすとき (測光記憶) に使用します。 (参考) ・ この機能は、「機能選択」画面の「補正」タブで「測光記憶機能」の 設定が ☑(チェックあり)になっている場合のみ、選択できます。 1.色の元となる画像上で右クリックします。

3.「画像選択」画面で以下の機能を使用する場合は、設定します。

機能の種類	詳細内容
	2.「測光記憶」をクリックします。
	プリントする画像すべてに対して同じ露光条件でプリントされます。 機能を解除するときは、同様に画面上で右クリックし、「測光記憶解除」 をクリックします。

4. 次のフィルムから画像データを取り込みます。

すべての画像データを取り込んだ場合は、次の手順へ進んでください。

(1)「追加スキャニング」ボタンをクリックします。

全選択 全解除 画像回転			
スキャニング本数	次へ	EDIT中断	
00001 A 240m B 120m 0000 [000-004-021] 0012/	/0028 🔳 🗷 💽 🔍 👞	 04:15 午後 S0300-00-	-UM56

フィルムが排出され、「フィルムをセットしてください」が表示されます。

- (2) フィルムをセットします。
 - フィルムは、最大5本までセットすることができます。(ロングフィルム、ピースフィルム 共)
 - 必ず、同じ種類のフィルムをセットしてください。
 参考)
 - ■)
 ・ 135Fの場合、8コマ以上のフィルムで「追加スキャニング」機能を行うときは、オート オーダーをOFFにしてください。

(3) 手順1から手順3を行います。

5.「次へ」ボタンをクリックします。

「顧客情報一覧」画面が表示されます。

2.1.4 顧客情報の選択をする

顧客からの情報を元に各データを登録、またはあらかじめ登録しているデータから選択します。 ここでは、あらかじめ登録しているデータから選択する方法について説明します。

顧客情報の選択、登録などの作業をしない場合

「次へ」ボタンをクリックします。 次の手順「2.1.5 テンプレートの読み込み」に進んでください。

1. 顧客情報一覧画面で「選択」ボタンをクリックします。

(例)「顧客情報一覧」画面

エディット	画面番号 [0300 - 00]	***				
表示	される顧客情報	を選択して「次へ]ボタ	ンを押してください			
					~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	
顧客情	報ファイル名	H:¥31¥Data¥Client.mdb			選択	
連番	名前(代表)	名前(連名)		住所	電話番号	[
	Ŷ					"S0300-0

「顧客情報ファイル選択」画面が表示されます。 初期設定では、「Data」フォルダが表示されます。

2. 顧客の情報の入ったファイルをクリックし、「開く」ボタンをクリックします。

(例)「顧客情報ファイル選択」画面

	電台情報フライルの場所の:	ata ilient lient oritsu oritsu 顔客竹青報ファイル(*.M	<ul> <li>              ← ■ ■ ■</li></ul>		
選択したファイ	新規作成	<u>削除</u>	1.		S0300-00-UM0
3. 一覧から目的の	の顧客をクリックし	えたいこう (100 )。 します。			
選択した顧客は	反転表示されます。				
(例)顧客情報	一覧画面	————目的	の顧客をクリック		
表示される顧客情:	」 <u>***</u> 報を選択して[次へ ボタ	シを押してください	,1		-
顧客情報ファイル名	C:¥Data¥Client.mdb			選択	
連番         名前(代表)           1 <b>能率太郎</b> 2         山田太郎	名前(連名) 能容花子 山田花子	郵便番号 640-8550 640-8550	住所   和歌山市梅原579-1 和歌山市桜町1-2	電話番号 123-456-7890 111-222-3333	
					S0300-00-UM0
<i>4.</i> 「次へ」ボタン	をクリックします	。 「「面が <b>ま</b>	<del>4</del>		

### 2.1.5 テンプレートの読み込み

使用するテンプレートの読み込み先を選択します。

1. テンプレートが入っているフォルダーを選択します。

C: ¥ Documents and Settings ¥ All Users ¥ Desktop ¥ eNET_PLUS ¥ Template ¥ Calendar

(例)「テンプレート読み込み先の選択」画面

🗐 🖙 Local Disk (C:)	
📄 🗇 🛅 Documents and Settings	
🗄 🛅 Administrator	
🔋 🖨 🗀 All Users	
📄 🛑 🧰 Desktop	
eNET_PLUS	
🖻 🤂 Template	
Calender	
🗄 🗀 Shared Documents	
🗉 🕀 🔂 Favorites	
🗄 🛅 Start Menu	

CALENDAR

2.「OK」ボタンをクリックします。

「テンプレート選択」画面が表示されます。

## 2.1.6 テンプレートの選択と、テンプレートへ画像をはめ込む

クリックしたテンプレートには、赤い枠が付きます。
(例)「テンプレート選択」画面 エティゥト
テンプレートを選択してください
ポストカード フォルダ 選択 選択
CII_c_06 CII_c_06 S0300-00-UM75
テンプレートを変更するときは
「選択」ボタンをクリックし、テンプレートを変更します。
テンプレートを選択してください
ボストカード フォルダ 選択 選択
CALENDAR 2004 S0300-00-UM75
2.「次へ」ボタンをクリックします。
「エディット」画面が表示されます。
3. はめ込む画像をクリックします。
(例)「エディット」画面
Image: BMP       Image: BMP </td

2 – 7



**4**. 選択した画像をテンプレート上の画像はめ込み位置(格子模様のところ)までドラッグアンドドロップします。

S0300-00-UM03

#### 他の画像データを読み込む場合

ー度エディットモードを終了し、「オーダー画面」でフィルムまたは記憶メディアから画像データの読 み込み作業をします。

5. テンプレート内にすべて画像をはめ込み、「閉じる」ボタンをクリックします。

#### (参考)

 はめ込んだ画像が大きすぎたり、画像が横になっていたりしているときは、「ズーム率」や、「画像 回転」機能を使用して調整します。



S0300-00-UM06

 ・ 画像データと画像はめ込み位置(格子模様のところ)の境目が分かりにくいときは、格子模様の色
 を変更することができます。

### 2.1.7 レイヤーを選択する

テンプレートには、レイヤーが複数含まれているものがあります。(例:カレンダーのテンプレート) このようなテンプレートを選択したときには、使用するレイヤーを選択する必要があります。

1. 使用するレイヤーを ☑ (チェックあり) にします。

√(チェックあり)にしたレイヤーだけが画面に表示され、プリント時も画面に表示されているレイ ヤーだけがプリントされます。(テンプレートに登録しているレイヤーでも、画面に表示されていない レイヤーはプリントされません。)

(例)「エディット」画面

							N ₉₁	0 7180 7+90	
	ブレビュー Undo	画像変更 文字入力	イメージ保存 イメージ読み込み	<u> グラフィック挿入</u> 顧客情報	グリッド表示 環境設定		6 10 6 9 6 8 6 7		
0	WB設定 2H301 ボストカード [ 8 0001 A 240r	39 (1) × 127.0 mm] n B 120m C 76m		0000 [000-004-021]	ブリント 0012/0028	R 戻る		EDIT終了	S0300-00-UM06

画面を見ながら使用するレイヤーをクリックします。

#### 2.1.8 画像の加工、特殊補正などの作業をする

画像の補正に関する操作をします。 下記に示す各ボタンをクリックし、表示している画像を加工や補正をします。 画像を選択しているときに表示されます。

(例)「エディット」画面



S0300-00-UM06

以下の表の番号は、図中の番号に対応しています。

番号	項目	説明
1	YMCD補正	表示されている画像の色、濃度を補正します。 操作方法は、通常プリント時に行う色、濃度補正と同じ要領で作業します。
2	ズーム率	画像の拡大縮小、トリミングをすることができます。
3	赤目補正	「補正1」タブにあります。 人物の瞳の色を補正することができます。
	DSA	「補正1」タブにあります。 コントラストなどのデジタル補正をすることができます。
	スポット補正	「補正1」タブにあります。 画像上の傷やごみを目立たないように仕上げることができます。

番号	項目	説明
	トーンカーブ補正	「補正1」タブにあります。 画像の微妙な濃度を色ごとに補正することができます。
	カラー変換	「補正1」タブにあります。 モノクロ、セピア調への画像にカラー変換することができます。
	ソフトフィルター	「補正2」タブにあります。 霧のなかで撮影したような画像、またはハイライト部分ににじみをつけた画像 を作成することができます。
	クロスフィルター	「補正2」タブにあります。 画像上の明るい部分にクロス(十字など)の光を入れた画像を作成することが できます。
	手動レンズ収差補正	「補正2」タブにあります。 カメラのレンズの影響によって発生するプリントの周辺光量不足、歪、色収差 等を補正することができます。
	左右反転	「補正2」タブにあります。 画像を左右に反転させることができます。
	上下反転	「補正2」タブにあります。 画像を上下に反転させることができます。
	自動補正変更	「補正2」タブにあります。 プリントチャンネル設定の「デジタル画像の自動補正」のON/OFFを切り替え ることができます。
	シーン別補正	「補正2」タブにあります。 逆光、夜景などの特殊な場面の画像を補正するときに使用します。
4	画像回転	画像を回転することができます。

### 2.1.9 編集作業をする

文字領域を作成したり、グラフィックデータを挿入するなどの編集作業をします。 下記に示す各ボタンをクリックし、表示している画像を加工や補正をします。

(例)「エディット」画面



以下の表の番号は、図中の番号に対応しています。

番号	項目	説明
1	表示サイズ	細かい作業をするときなど、表示画像の大きさを変更することができます。
2	グリッド表示	画面上に文字領域などの配置をするときに便利なように、目盛りを付けること ができます。
3	グラフィック挿入	任意のグラフィックを呼び出して合成することができます。
4	イメージ保存	画面に表示されているイメージをデータとして保存することができます。 同じ注文が依頼されたときなどに備えて使用すると便利です。
5	画像変更	一度貼りつけた画像を変更することができます。
6	プレビュー	編集途中のデータを仕上がりのイメージで確認することができます。
7	環境設定	「グリッド表示」を使用したときの目盛りの間隔や、色などを設定することが できます。
8	顧客情報	一度選択した顧客情報を変更することができます。
9	イメージ読み込み	「イメージ保存」で保存したデータを呼び出します。
10	文字入力	文字を合成することができます。
11	Undo	この画面で間違って実行してしまった操作を元に戻すことができます。
12	WB設定	プリントに指定した色でフチを作ります。「プレビュー」ボタンをクリックすると、イメージを確認することができます。

### 2.1.10 プリントをする

編集した画像をプリントします。

